

## ESD パスポート体験発表会

### 基調講演「SDGs と未来社会の私たち」

サンメッセ総合研究所 (Sinc) 代表 田中 信康氏  
サステナブル・ブランド国際会議 ESG プロデューサー



田中代表は、体験発表を行う中・高校生のみなさんを中心に、一般参加者、ユネスコ協会関係者に向けて、SDGs (持続可能な開発目標) の基本概念をはじめ2030年までに世界が達成すべき貧困や健康、そして環境など17の目標を丁寧に説明した上で、「SDGsの誰一人取り残さないという理念\*のもと、持続可能な社会の実現を目指しましょう」と中・高校生に対して、非常に分かりやすく呼びかけました。

また、16歳の高校生グレタ・トゥーンベリさんの国連「気候行動サミット」での発言で有名となった「あなたたちを許さない」のキーワードを挙げ、世界120ヶ国1億人以上に波及したストライキの意味を正しく伝え、全世界の企業をはじめ多くの団体の活動として環境に真剣に取り組むことの意義と、“青い地球”を守ることの尊さとESD教育においても非常に大切な視点であると話されました。

特に田中代表の実体験や事例をふまえ、自身がコンサルティングを担う某国内大手自動車会社の事例として電気自動車 (EV) の事例を挙げ、EVの普及が将来の地球のために大きく貢献できる視点を説明し、これまでのビジネスと大きく異なる視点として、「国内外のさまざまな社会的課題の解決を、本業のビジネスをもって担うことが企業に求められる新たな思考である。次代に適応した事業モデルこそが経済発展に繋がり、それがひいては持続可能な社会形成において役立つ企業姿勢であることと、これらを推進することこそが、必要とされる企業であり続ける重要なポイントだ。」と紹介し、聴講の中・高校生からも「電気自動車に興味があった。車を買ったら電気自動車にしたい。」と発する一幕にもなりました。

また、自身が経営の執行業務を担うサンメッセ株式会社におけるSDGsに取り組む必然性なども紹介し、良いことだけでなく、出来ないこともある。それをどう解決していくかといったリアリティある経験を交えて熱く語り、「SDGsを正しく理解し、アクションにつなげることで未来に期待がもてるヒントがいくつも見えてきている。夢をもって経営の一員となり会社の持続的発展に努め、地域社会において貢献したい。」と語られました。

登壇を終えた田中代表は、「岐阜県内の中・高校生が目をキラキラさせながら関心を寄せてくれ、既に社会的課題の解決に取り組んでいる姿に感動した。お役に立てることがあれば、故郷岐阜のためにも、微力ながら力になりたい。」と意欲を示されました。

\* SDGsの理念をより理解していただくために 『誰一人取り残さない・・・』

#### 2030 SDGs アジェンダ・前文の一部を抜粋してご紹介します！



すべての国およびすべてのステークホルダーは、協同的なパートナーシップのもと、この計画を実行する。我々は、人類を貧困の恐怖及び欠乏の専制から解放し、地球を癒し安全にすることを決意している。我々は世界を持続的かつ強靱 (レジリエント) な道筋に移行させるために緊急に必要な、大胆かつ革新的な手段を取ることに決意している。我々はこの共同の旅路に乗りだすにあたり、誰一人取り残さないことを誓う。